

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

生活習慣病予防管理料、糖尿病および慢性腎臓病透析予防管理料に対する理学療法の実態と介入効果の検証

2. 研究責任者(当院)

所属：リハビリテーション室

氏名：田畠吾樹

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名：国際医療福祉大学

代表名：河野健一

3. 分担研究者

所属：腎臓内科

氏名：藤井隆之

所属：リハビリテーション室

氏名：加藤木丈英、三嶽侑哉、田畠吾樹、大野隼汰

4. 研究対象者

2022 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日の間に聖隸佐倉市民病院に通院し、理学療法士が身体機能評価と運動指導を行った患者

5. 研究の必要性

運動療法は生活習慣病の基本治療であり、厚生労働省がまとめた健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023 においても、身体活動と生活習慣病発症や死亡リスクの間には密接な関係があり、身体活動量が多いほど、疾患発症や死亡リスクが低いことが示されている。ただし、その実施にあたって理学療法士による指導が有効であるかは国内外において証明されていない。日本糖尿病学会が編集・発行する最新の糖尿病診療ガイドラインにおいて、食事療法の実施にあたって管理栄養士の指導が有効であることが明記されている[推奨グレード A]。一方で、運動療法の実施にあたり誰の指導が必要なのか、誰が指導することが有効であるかが明らかでないのは、その実証研究が不足していることが考えられる。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

後方視的研究であり、日常診療にて収集した情報のみを使用するため、本研究によって生じる個人への影響はないと考えられます。

今回の検討により医学上の貢献の予測としては、身体機能の評価を行うことで、転倒や再入院、腎予後の予後予測につながること、早期にリスクが高い患者を抽出でき多職種で予防に取り組むことが可能となると考えられる。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号：043-486-1151（代表）

担当者氏名：田畠吾樹

対応時間：8:30－17:00